

## 2021年度 社会福祉法人権の木福祉会 事業報告(案)

### 1. 2021年度主要事業の進捗状況

#### 1) 法人本部機能の強化

組織体制を見直し、法人本部機能を強化した。また、新たなステップへ法人を成長させるために法人理念の見直しを実施した。

##### 《 新 理 念 》

“地域最後の拠り所”をミッションとする

“自分らしさ”をアシストする

“福祉”をエンjoyする

#### 2) 介護報酬改定への対応

新規取得可能な加算や体制整備についての検討と対策を進めた。

#### 3) リスクマネジメント

大規模災害、新型コロナウイルスのまん延防止に備えたBCPの作成を進めた。

#### 4) 働き方改革と魅力ある職場作り

働きやすい職場環境を整備するために諸規定の見直しを進めた。

#### 5) 人材確保対策

ホームページリニューアル、採用パンフレット制作などを進めた。

#### 6) 新規事業

新たにスタートした障がい事業では、新規利用者確保、質の向上を進め、安定した事業運営ができる基盤を作った。10月より、生活介護の運営を開始した。

#### 7) 地域連携

コロナ禍でも出来る範囲で地域貢献を進めた。また、中野会との法人間連携を深めた。

### 2. 事業所別報告(実績・課題)

#### 1) 特別養護老人ホーム瑞光の里

- ・【本館平均人数】特養 85.3 人、ショート 23.1 人であった。(目標:特養 88 人、ショート 19.5 人)
- ・【別館平均人数】特養 38.0 人であった。(目標:特養 39 人)
- ・【平均介護度】本館 3.9、別館 3.9 であった。(目標:本館 4.1、別館 4.2)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(常勤換算:72.7 人、目標:50 人)
- ・認知症介護実践リーダーや実習指導者研修はコロナ渦のため開催されなかった。
- ・ユニットリーダー資格の取得を進めた。
- ・ショートステイ緊急受け入れ体制を強化した。(対象問わず、措置入所を含む)
- ・接遇(臭い対策や言葉使い)を意識し、サービスの質の向上に努めた。
- ・職員が働きやすい環境作りを進めた。
- ・地域からも信頼される施設運営を目指し、介護予防協議会等へ参加し、地域ニーズを共有した。
- ・エアコンメンテナンス、エレベーター改修工事を計画的に実施した。また、防犯強化のため電子錠を設置した。
- ・研修や会議等、ZOOM を積極的に活用し、介護職員等によるたん吸引研修の受講を進めた。
- ・委員会やプリセプター制度等を通じて、新人教育や職員教育の充実を図った。
- ・事業継続計画(BCP)に取り組み、継続的な研修や教育に努めた。

#### 2) 瑞光の里指定居宅介護支援事業所

- ・【平均人数】介護給付 128.4 人、予防給付 21.9 人であった。(目標:128 人、12 人)
- ・各ケースの情報を共有し、担当不在時にも迅速に対応ができる仕組み作りを進めた。

- ・半田市高齢介護課や半田市包括支援センターとの連携会議、半田市居宅介護支援事業所勉強会などへの参加を通じて地域包括ケアに取り組んだ。
- ・情報伝達会議等を開催し、居宅内のマネジメント力の向上や改善策を話し合い働きやすい環境作りに努めた。
- ・ZOOM を活用し、介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進めた。
- ・半田市包括支援センター、半田養護老人ホーム Link などからの処遇困難事例を積極的に受け入れた。
- ・介護支援専門員の年間研修計画等の策定と実施状況を確認した。
- ・介護支援専門員実務研修実習受入体制を継続した。
- ・法人内の相談員と協力し問題解決に努め、お互いの関係を強化した。
- ・特定事業所加算Ⅱの算定を継続した。
- ・新たに事業継続計画(BCP)の取り組みを開始した。

### 3) 特別養護老人ホーム第二瑞光の里

- ・【特養平均人数】特養 85.6 人、ショート 11.7 人であった。(目標:特養 87 人、ショート 11 人)
- ・【平均介護度】3.8 であった。(目標:4.0)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(常勤換算:38.6 人、目標:38.6 人)
- ・新体制での運営初年度となったため、各部署との連携強化に努めた。
- ・稼働率を施設会議で共有をする事で「社会資源の活用」といった社会福祉法人の在り方を職員へ浸透させた。
- ・理念に沿った言動を定着させるため、毎朝朝礼時の復唱を実施した。
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努めた。
- ・ZOOM を活用し、介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進めた。
- ・共生型サービス事業を継続し、障がい者の受け入れ体制を強化した。
- ・新型コロナ対策と両立しながら地域交流を進め、地域から頼られる施設を目指し推進した。
- ・駐車場の拡充および施設設備見直しについて検討を進めた。
- ・『利用ファースト』をテーマに掲げ顧客意識の浸透を図った。引き続き継続して取り組む。

### 4) デイサービスセンター第二瑞光の里

- ・【平均人数】24.9 人であった。(内訳:高齢 22.9 人、障がい 1.9 人、目標:28 人)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(常勤換算:6.3 人、目標:5 人)
- ・新体制での運営初年度となったため、各部署との連携強化に努めた。
- ・職員配置体制を見直し、適正な人員配置およびサービス内容の整理を行った。
- ・新規利用者獲得を目指し『断らない』を共通認識として関連事業所との連携強化に努めた。
- ・サービスプログラムの再構築の一環として個別機能訓練を安定して提供できる様に部署間の連携を強化した。
- ・感染症の早期発見早期対応を心掛け対応を行った。

### 5) 半田養護老人ホームLink

- ・【平均人数】47.5 人であった。(目標:48 人)
- ・新規入所受け入れ 14 名、退所 13 名、緊急ショート受け入れ 3 名であった。
- ・新体制での運営初年度となったため、各部署との連携強化に努めた。特にデイサービスセンター第二瑞光の里、瑞光居宅介護支援事業所との連携強化に努めた。
- ・歯科検診を継続実施する事で、入居者への口腔ケアの向上を図った。
- ・職員教育を行い、認知症・対応困難の入居者対応の技術研鑽に努め、サービスの質の向上を図った。
- ・運動場の整備を実施し、将来の地域交流の場に向けて準備を開始した。
- ・特定施設についての調査、検討を進め、指定に向けて検討を進めた。
- ・緊急ショートステイ事業利用者に向けたサービス提供を半田市と協力して実施した。

## 6) 特別養護老人ホーム瑞光の里 緑ヶ丘

- ・【特養平均人数】92.5 人であった。(目標:97 人)
- ・【SS平均人数】22 人であった。(目標:19.5 人) ※空床型SS含む
- ・【平均介護度】4.0 であった。(目標:4.1)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(常勤換算:43.2 人、目標:45 人)
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努めた。
- ・共生型短期入所サービスの開始届を提出した。(2022 年 4 月 1 日より指定)
- ・受賞した接遇大賞に恥じない接遇や言葉遣いに努めた。
- ・事業所を取り巻く環境や変化を理解し、柔軟に対応できる体制を整えた。
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努めた。
- ・ZOOM を活用し、介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進めた。
- ・困難事例と向き合い、地域から頼られる施設を目指して実践した。
- ・ボランティアはコロナ渦で受け入れ中止としたが、コロナ対策を徹底し実習生の受け入れを行った。
- ・職員研修などを通じて職員の顧客意識を向上させ、接遇力向上に努めた。
- ・実習生の受け入れを通じて日本福祉大学半田キャンパスとの交流を進め、連携を深めた。
- ・ユニットリーダー研修実地研修施設として、実習生の受入れ体制の構築に努めた。

## 7) 総合支援部障がい支援課

- ・新規開設事業運営の安定化(人材定着、利用者確保)を最優先課題とし、黒字化を目指していた。人材定着はできたが、利用者確保が予定通りに進まず、課題が残っている。
- ・居宅介護事業において、高齢分野の対応ができる共生型事業について 5 月より指定認可を受けた。
- ・10 月より生活介護ずいこうを放課後等デイサービスずいこう併設の多機能型拠点で開所した。それに伴い、ヘルパーステーションずいこうを半田市長根町に事務所移転した。
- ・多機能型拠点の移転先について検討を進めたが、現時点では有力情報につなげていない。
- ・就労支援事業は「農福連携」をキーワードに事業展開を行い、一定の成果を上げることができたが、稼働率に課題が残っている。
- ・「高齢分野の椎の木福祉会」のイメージが先行しており、障がい分野開設の広報不足がある。今後のイメージ戦略が必要だと考えられる。
- ・グループホームと就労支援 A 型をはじめ、他新規事業についても情報収集を進めていく。

## 8) 地域連携

### ① 困難事例の受け入れ(包括支援センター等)

瑞光の里・・・ 本入所 0 件 短期入所 4 件  
第二瑞光の里・・・ 本入所 0 件 短期入所 11 件  
緑ヶ丘・・・ 本入所 0 件 短期入所 11 件

### ② 地域交流・実習生受入実績

#### 【椎の木福祉会】

- ・認知症サポーター養成講座講師(半田信用金庫、DODO カフェ)
- ・半田市認知症理解促進事業協力(作品貸し出し、パネル作成)
- ・日本福祉大学講師派遣(ソーシャルワーク入門)(オンライン)
- ・日本福祉大学講師派遣(ソーシャルワークの基礎と専門職)
- ・まなびとゼミ講師「腰痛予防講座」
- ・乙川中学校に講師派遣「福祉のお仕事」

#### 【特別養護老人ホーム瑞光の里】

- ・社会福祉士実習受入(コロナ禍のため中止)
- ・介護福祉士実習受入(コロナ禍のため中止)
- ・半田南部他機関連携会議参加
- ・出張相談窓口(ふらっとスペースならわ)
- ・「認知症について」「腰痛予防」講師(板山地域フリースペース)
- ・半田居宅介護支援事業所連絡協議会(HKB)参加
- ・半田市包括支援センター運営協議会参加
- ・地域包括ケアシステム推進協議会在宅医療・介護連携部会参加

#### 【特別養護老人ホーム第二瑞光の里】

- ・出張相談窓口(ふらっとスペースならわ)
- ・任坊山公園のクリーン活動
- ・NPO 法人共育ネットはんだ・みんなのカフェともとも・障がい児の就労支援(ワンデイシェフ)
- ・地域会議参加(半田南部多機関連携会議、半田中学校区多機関連携会議、介護予防生活支援協議会)
- ・地域住民、ボランティア受入(コロナ禍のため縮小して実施)
- ・介護福祉士実習受入(名古屋福祉専門学校・日本福祉大学)
- ・社会福祉士実習受入(日本福祉大学)

#### 【半田養護老人ホームLink】

- ・地域会議参加(半田中部多機関連携会議)
- ・土井山緑地の清掃活動(コロナ禍のため中止)
- ・太陽クラブ(学童)交流(慰問来訪、イモ掘りは中止となったが、関係継続を図った)
- ・日本福祉大学スポーツ科学部フィールドワーク学生受け入れ(コロナ禍のため中止)
- ・日本福祉大学健康科学部、社会福祉士相談援助実習 A、B 受入(コロナ禍のため中止)

#### 【特別養護老人ホーム瑞光の里 緑ヶ丘】

- ・社会福祉士実習受入(日本福祉大学美浜キャンパス・半田キャンパス)
- ・介護福祉士実習受入(日本福祉大学半田キャンパス)
- ・交通立哨及び清掃活動(年3回実施)
- ・亀崎駅前はうす出張相談会、亀崎ふくし事業者連絡会参加
- ・認知症サポーター養成講座(キャラバンメイト) 亀崎小学校にて開催

#### ③医療法人中野会との連携

- ・法人本部会議の開催(年12回)

以上